

Facebook リンク書類=4種

2015年10月13日ツオロミー、レザーワックス加工

第1回目

モンベルの登山靴「ツオロミー」(ヌバックレザー&合成皮革&ナイロン生地のコンビネーション)をレザーワックス3回塗り加工をすることにしました。

ヌバックレザーとナイロン生地のコンビネーション登山靴を愛用している方は多いと思います。是非お手入れのご参考になさってください。

ワックス加工の作業工程は、前回初めて行ったシリオのヌバックレザー登山靴(オールレザー)と同じです。但しツオロミーはヌバックレザーの面積部分が少ないので、若干勝手が違いました。山行後で靴底やサイドラバーが汚れてる場合は、タワシで洗います。

- (1) まずアッパー全体をたっぷり濡らしたスポンジでしっかり湿らせます。
泥汚れなどがあれば、予めタワシなどで優しく洗浄しておきましょう。
- (2) 次に「レザー・ジェル」(防水100%・保革0%)をアッパーの全体的にぎっくりつけてから、水で濡らしたみがきブラシ(※注)で素早く塗り付けます。このとき特にヌバック部分を重点的に塗ります。

「レザー・ジェル」=表面をコーティングし、防水効果が長期間持続します。(防水100%
栄養0%) ・革、布の両方に使用可能=

(※注)みがきブラシは、コロニル社の「みがきブラシ」(ドイツ製)をお薦めします。

馬毛100%で毛足も長くてとても磨き易いです。

- (3) 次にヌバック部分(合成皮革部分も可。以下同じ)に「ヌバック・ローション」をまんべなくしっかり塗布します。

ヌバック・ローション=長年の使用で色あせたヌバックやスウェード革の風合いを復元。
紫外線の影響などで色落ちしたヌバック革の色彩に深みを与えます。革の耐久性を高め、
キズや摩擦、紫外線から守ります=

(4) ローション塗布で濡れている状態で、「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」
(防水50%・保革50%)を2cmくらい人指し指にとって、ヌバック部分全体にまんべんなく指差して塗っていきます。皮革部分を指や掌でしっかり丁寧に擦り、ワックスをレザー一部分に馴染ませます。ある程度なじんだら、余分なワックス分をみがき布で拭き取ります。この作業でワックスのベタベタ感が取れます。

みがきブラシでヌバック部分全体にワックスを伸ばします。

革の曲がる部分や、擦れやすいつま先部分には、少し多めに塗って下さい。

皮革部分を指や掌でしっかり丁寧に、少しツヤが出るまで擦ります。

「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」(防水 50% 保革 50%) =使いこんで革表面がカサついて栄養分が不足した革に、高い栄養分と防水効果を与え、革靴を水や雪の浸入による傷みから守ります=

みがきブラシに少し水をつけてから、ブラシに残っているワックスをヌバック部分に塗り付け、しっかりブラッシングをします。

擦れたりして傷ついた箇所には、気持ち多めに塗布しましょう。

このときヌバック・ローションやアウトドア・アクティブ・レザーワックスがナイロン生地部分に付着しても特に問題はありませんが、敢えて塗るのは止めましょう。

ブラッシングのコツは、シャカシャカシャカシャカと音がするくらい手早く前後左右に繰り返します。2回目、3回目も同じ要領でしっかりブラッシングしましょう。

ブラッシング後にヌバック部分に色のまだらができる場合がありますが、濃いところは水分を含んでいます。しっかり自然乾燥すれば、まだらはなくなります。

これで第1回目のワックス加工は完了です。風通しの良い日影の室内で最低2日間（できれば3～4日間）、しっかり自然乾燥させます。

第2回目のワックス加工の前に、ブラッシングするとなお良いです。ブラッシングにしすぎはありません。

レザーワックス3回塗り加工のポイントは、「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」を塗り過ぎないことです。薄くまんべんなく塗り、手のひらや指でしっかりと擦った摩擦熱とブラッシングすることで光沢が徐々に増してゆきます。

画像をご覧ください。ヌバック部分に少し光沢が出ています。

コンビネーション登山靴の防水に「レザー・ジェル」を使用するのは、革&布の両方に対応なので問題はありません。

ただナイロン生地（メッシュなので）への沁み込みが弱い感じがしました。

ナイロン生地をしっかりスポンジの水で濡らしておくと、レザー・ジェルが浸透しやすくなります。

ナイロン生地部分の防水に関しては、登山靴のアップー全体を洗浄&防水&ワックスが同時にできる「ナノ・コンプリート」の方が、コンビネーション登山靴には良いかもしれません。

ヌバック部分のワックス加工がメインの今回の工程です。ナイロン生地部分の防水は、後日防水スプレーでも OK（後述あり）です。



2015年10月15日ツォロミー、レザーワックス加工

第2回目

モンベルの登山靴「ツォロミー」（ヌバック&合成皮革&ナイロンのコンビネーション）をレザーワックス3回塗り加工を作業中です。

ワックス加工の作業工程は、前回初めて行ったシリオのヌバックレザー登山靴と同じです。

10月14日午後にレザーワックス加工第2回目をしました。

第1回目と違うのは、レザー・ジェルの塗布がないことです。

- (1) ヌバック部分（合成皮革部分も可。以下同じ）に「ヌバック・ローション」をまんべんなくしっかり塗布します。
- (2) ローション塗布で濡れている状態で、「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」（防水50%・保革50%）を2cmくらい人指し指にとって、ヌバック部分全体にまんべんなく指差しで塗っていきます。

皮革部分を指や掌でしっかり丁寧に擦り、ワックスをレザー部分に馴染ませます。

ある程度なじんだら、余分なワックス分をみがき布で拭き取ります。

この作業でワックスのベタベタ感が取れます。

みがきブラシでヌバック部分全体にワックスを伸ばします。

革の曲がる部分や、擦れやすいつま先部分には、少し多めに塗って下さい。

ブラシに少し水をつけてから、ブラシに残っているワックスをヌバック部分に塗り付け、

しっかりシャカシャカシャカシャカと音がするくらい手早く前後左右にブラッシングをします。擦れたりして傷ついた箇所には、気持ち多めに塗布しましょう。

このときヌバック・ローションやアウトドア・アクティブ・レザーワックスがナイロン生地部分に付着しても特に問題はありませんが、敢えて塗るのは止めましょう。

レザーワックス3回塗り加工のポイントは、「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」を塗り過ぎないことです。薄くまんべんなく塗り、手のひらや指でしっかりと擦った摩擦熱とブラッシングすることで光沢が徐々に増してゆきます。

これで第2回目のワックス加工は完了です。風通しの良い日影の室内で一両日、しっかり自然乾燥させました。最低2日間（できれば3～4日間）、自然乾燥させましょう。

10月15日午後、みがきブラシでヌバック部分をブラッシングしました。

第3回目のワックス加工の前に、ブラッシングするとなお良いです。

画像をご覧ください。第1回目と比べてヌバック部分がより光沢が増して、色味も濃くなっています。もう1日乾燥させて、明日10月16日に第3回目のワックス加工処理（最終）をしようと思っています。



2015年10月16日ツオロミー、レザーワックス加工 第3回目（最終）、完了

モンベルの登山靴「ツオロミー」（ヌバックレザー&合成皮革&ナイロンのコンビネーション）をレザーワックス3回塗り加工の3回目（最終）を完了しました。

ワックス加工の作業工程は、前回初めて行ったシリオのヌバックレザー登山靴と同じです。

10月16日朝にレザーワックス加工第3回目をしました。

第2回目と同じくレザー・ジェルの塗布はしません。そして最終工程で「ナノ・クリーム」を塗布します。

- (1) ヌバック部分（合成皮革部分も可。以下同じ）に「ヌバック・ローション」をまんべなくしっかり塗布します。
- (2) ローション塗布で濡れている状態で、「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」（防水50%・保革50%）を2cmくらい人指し指にとって、ヌバック部分全体にまんべなく指差しで塗っていきます。

みがきブラシでヌバック部分全体にワックスを伸ばします。

革の曲がる部分や、擦れやすいつま先部分には、少し多めに塗って下さい。

皮革部分を指や掌でしっかり丁寧に擦り、ワックスをレザー部分に馴染ませます。

ある程度なじんだら、余分なワックス分をみがき布で拭き取ります。

この作業でワックスのベタベタ感が取れます。

みがきブラシに少し水をつけてから、ブラシに残っているワックスをヌバック部分に塗り付け、しっかりシャカシャカシャカシャカと音がするくらい手早く前後左右にブラッシングをします。擦れたりして傷ついた箇所には、気持ち多めに塗布しましょう。

このときヌバック・ローションやアウトドア・アクティブ・レザーワックスがナイロン生地部分に付着しても特に問題はありませんが、敢えて塗るのは止めましょう。

レザーワックス3回塗り加工のポイントは、「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」を塗り過ぎないことです。薄くまんべなく塗り、手のひらや指でしっかりと擦った摩擦熱とブラッシングすることで光沢が徐々に増してゆきます。

- (3) そして最後の工程は、「ナノ・クリーム」の塗布です。

仕上げにヌバック部分に、「ナノ・クリーム」（防水80% 保革20%）を塗ります。

＝従来より小さなナノレベルの分子成分が、革に深く浸透しつつ表面をコーティング。従来のワックス類よりも効果の持続性を保ち、高い防水と保革を両立します＝

「ナノ・クリーム」を1cmくらい指にとり、ヌバック部分にまんべなく塗りこみます。

最後にみがきブラシで丁寧に磨き上げます。

この時、ブラシに水を付けて磨くのは厳禁です。ナノ・クリームの成分が水に溶けてしまうからです。

これで第3回目のワックス加工は最終で完了です。風通しの良い日影の室内で自然乾燥させました。なおナイロン生地部分についてのみ、更なる防水加工をするため、防水スプレーをしっかりとしました。参考までに、ヌバックレザーとナイロン生地のコンビネーション登山靴に適する防水スプレーについて、タカダ貿易（コロニル取扱代理店）の回答はコロニルの「ヌバックスプレー」（防水50%・保革50%）が良いとのことでした。

本来なら後1日は乾燥させたいのですが、10月17日早朝から出かける都合があり、10月16日17時に、みがきブラシでヌバック部分をブラッシングしてとりあえず最終としました。

ヌバック部分のワックス3回塗り加工は、それぞれの段階で加工後に少なくとも2日間（できれば3～4日間）、風通しの良い日影の室内で自然乾燥をしましょう。

しっかり自然乾燥させることで、皮革にワックスが馴染み、又その期間にブラッシングする機会も多くなりますね。

画像をご覧ください。最初の4枚がワックス加工を3回完了した画像です。

5枚目の画像はモンベルのオンラインショップで掲載の新品画像です。

比べると光沢でピカピカに輝いています。色味もかなり濃くなっています。

そもそもヌバックレザーは表革を起毛させたもので、登山靴ではワックスを塗布し易いようになっていると考えられます。

ワックス3回加工したことでヌバックレザーの風合いは無くなりましたが、ワックスが皮革を保護して傷つきにくくなります。また新品時にワックス加工することで、ヌバックレザーの寿命が2～3倍になるとも言われています。

なによりもピカピカの光沢がとても美しいです。

一度、ワックス塗り3回加工処理すると、山行から帰宅した後の登山靴のメンテナンスも30分くらいで可能です。

ヌバック部分の汚れも酷くなく擦り傷がない場合は、水を含ませたスポンジで洗います。皮革が乾いたら、ヌバック・スプレーを噴霧して乾いたらみがきブラシでブラッシングしましょう。

汚れも酷く、擦り傷がある場合には、程度に応じてヌバック・ローション、アウトドア・アクティブ・レザー・ワックス、ナノ・クリームの順番に、部分塗り又は全体塗りのワックス加工をしましょう。

「ツオロミー」(ヌバックレザー&合成皮革&ナイロンのコンビネーション) をワックス
3回塗り加工が完了して、ピカピカになり登山靴のメンテナンスに快感を覚えました。

何より自分の登山靴に愛着を抱くようになりました。登山グッズのメンテナンスで快感と
愛着を抱いたことは、シリオのヌバックレザー登山靴に続きこれが2度目です。

ヌバックレザー登山靴(オールレザー)だけでなく、ヌバックレザーとナイロン生地のコ
ンビネーション登山靴の、ワックス塗り3回加工をお薦めいたします。

コロニル製品及び登山靴のお手入れ(メンテナンス)については、下記のサイト(取り扱
い会社「タカダ貿易」)をご覧ください。

<http://takadaboueki.com/maintenance1.html>

更にヌバックとナイロンのコンビ登山靴のお手入れは、下記の YouTube 動画(バックカン
トリー穂高が制作)も参考になさってください。

(ローバー メリーナ GTX LOWA ゴアテックス 登山靴 手入れ)

[https://www.youtube.com/watch?v=szdnkLGu0_M&list=LLm3g76jPo2CIm3dyK807i0A
&index=16](https://www.youtube.com/watch?v=szdnkLGu0_M&list=LLm3g76jPo2CIm3dyK807i0A&index=16)



2015年10月24日、山行後の汚れたツオロミーをワックス再加工処理

東御市の「東箆ノ登山」にツオロミーを履いて登山し、帰宅後の2015年10月21日午後、汚れたツオロミーを洗ってワックスの再加工をすることにしました。

山行後の登山靴の汚れ具合は、画像の1～3枚目の画像をご覧ください。

「東箆ノ登山」に登山する直前にツオロミーのワックス3回加工を完了してしますので、汚れはさほどひどくはありません。

それでもワックスの再加工をすることにしました。

(1) 登山靴の洗浄

まず靴底とサイドのラバーを洗います。亀の子束子でしっかり水洗います。

更にハンドソープ（泡）をタワシにつけてラバーをゴシゴシ洗います。

次にアッパーのヌバックレザー部分とナイロン生地部分を洗います。

バケツに水をはり、コロニルのスポンジにしっかり水を含ませて汚れを落とします。

さあ、ワックス再加工の始まりです。

ワックス3回塗りの第1回目で「レザー・ジェル」をヌバック部分に沁み込ませるので

省略しても良いのですが、初めての再加工なので、念のため「レザー・ジェル」の塗布をすることにしました。

(2) 「レザー・ジェル」(防水100%・保革0%)をアッパーの全体的にぎっくりつけてから、水で濡らしたみがきブラシ（※注）で素早く塗り付けます。このとき特にヌバック部分を重点的に塗ります。

「レザー・ジェル」＝表面をコーティングし、防水効果が長期間持続します。(防水100%
栄養0%) ・革、布の両方に使用可能＝

(※注) みがきブラシは、コロニル社の「みがきブラシ」(ドイツ製)をお勧めします。
馬毛100%で毛足も長くてとても磨き易いです。

(3) 次にヌバック部分(合成皮革部分も可。以下同じ)に「ヌバック・ローション」をまんべなくしっかり塗布します。

ヌバック・ローション＝長年の使用で色あせたヌバックやスウェード革の風合いを復元。紫外線の影響などで色落ちしたヌバック革の色彩に深みを与えます。革の耐久性を高め、キズや摩擦、紫外線から守ります＝

(4) ローション塗布で濡れている状態で、「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」(防水 50%・保革 50%) を 2cm くらい人指し指にとって、ヌバック部分全体にまんべんなく指差して塗っていきます。

皮革部分を指や掌でしっかり丁寧に擦り、ワックスをレザー部分に馴染ませます。

ある程度なじんだら、余分なワックス分をみがき布で拭き取ります。

この作業でワックスのベタベタ感が取れます。

みがきブラシでヌバック部分全体にワックスを伸ばします。

革の曲がる部分や、擦れやすいつま先部分には、少し多めに塗って下さい。

皮革部分を指や掌でしっかり丁寧に、少しツヤが出るまで擦ります。

「アウトドア・アクティブ・レザーワックス」(防水 50% 保革 50%) ＝使いこんで革表面がカサついて栄養分が不足した革に、高い栄養分と防水効果を与え、革靴を水や雪の浸入による傷みから守ります＝

みがきブラシに少し水をつけてから、ブラシに残っているワックスをヌバック部分に塗り付け、しっかりブラッシングをします。

擦れたりして傷ついた箇所には、気持ち多めに塗布しましょう。

このときヌバック・ローションやアウトドア・アクティブ・レザーワックスがナイロン生地部分に付着しても特に問題はありませんが、敢えて塗るのは止めましょう。

ブラッシングのコツは、シャカシャカシャカシャカと音がするくらい。

